

箱崎まちづくり新聞

発行者 箱崎まちづくり協議会
事務局
電話 651-7708
(公民館)

★ 平成15年度各部会事業計画決定

箱崎まちづくり協議会は、活動の運営、推進に参加型の手法を取り入れ実施してきました。この取り組みにより将来を見据えた中での地域が直面し解決すべき課題問題が明らかになりました。今年度はより具体的に実践的な問題に対応しながら、将来ビジョンを明らかにするとともに、校区住民のコミュニティの活性化及び環境改善事業を実施することになりました。各部会の事業計画は次のとおりです。

◎ 暮らし交流部会

住民間の交流促進のためのふれあい広場や商店街の活性化策を商店街と協調検討するとともに校区内、花いっぱい運動を展開、環境改善を推進する

- ①ふれあい広場・・・世代間交流の場及び土曜日休校対策として実施
- ②コミュニティ・・・まち協のPR、情報交換板管理
- ③花づくり教室及び花いっぱい運動・・・専門家による指導、四季折々の花づくりの奨励
- ④商店街活性化対策・・・商店街イベント協力
- ⑤ケアビックス・・・ふれあい広場、敬老会

◎ 歴史文化部会

伝統文化を保存、継承していくために、ふるさと箱崎の歴史を学び、PRするボランティアの育成を行うとともに箱崎の履歴をまとめた箱崎誌編纂の作成業を行う。

- ①箱崎歴史散策ボランティアガイド養成・・・募集、研修
- ②箱崎歴史散策ガイド・・・参加者募集のうえ実施
- ③箱崎誌編纂・・・将来の編纂に向けて資料収集、資料整理

◎ まち整備部会

歩行者の安全が確保されていない道路整備対策、特に大学通りの将来イメージを地元関係者の理解と協力の中で策定し、地域と行政との協調により実現に向けて実施する。また、九大移転跡地については、部会で案を策定する。

- ①意見交換会・・・箱崎本通り道路拡幅問題
- ②ワークショップ・・・箱崎の新しいまちづくりを考える
- ③地域活動支援・・・箱崎小5年生総合学習「九大探検・跡地利用を考える」
- ④部会紙発行・・・意見交換会報告

事務局は、校区住民及び校区外に対し箱崎まちづくり協議会に対する意識、理解を深めるため今年も夏祭り、天瀬町との交流なども実施致します。

★ 大学通り（箱崎本通り）の交通量調査実施！

5月28日（水）午前10時から午後5時まで、大学通りの交通量調査を実施しました。これは、過去2回行われた「意見交換会」において、“大学通りの人・自転車・車の通行量は、実際にはどれだけあるのかを調査する必要があるのではないか”との意見により実施されたもので、西京自転車・ベルリンメガネ前の交差点・西日本銀行前・福岡シティ銀行前の3ポイントで、人・自転車・バイク・車の種類に分類して調査を行いました。

当日は、すがすがしい晴天で、順調に調査を行いましたが、思っていたよりも交通量が多く、実際に調査を行っていただいた方からも、驚きの声が上がっていました。この調査結果の内容については、後日まち企画部会新聞等によりご案内いたします。



★ぶどう園に“応援団” (西日本新聞に掲載)

昨年度より天瀬町との交流の一環として実施しています天瀬町のぶどうの袋かけを、今年も6月28日(土)に行いました。天瀬の「女にまかせろ百人会」、天瀬出身者の「天瀬すバラしかバイ福岡」、「箱崎まちづくり協議会」の合計80名ほどで四つの、農家に分かれて作業をしました。

今年は大雨でしたが(ぶどうはハウスの中です)箱崎からは35名の参加があり農家の方も大変喜ばれました。今回は西日本新聞の取材があり、帝大前の江嶋さんご夫妻の体験話と写真が掲載されました。(6月29日付 西日本新聞)

江嶋禮次郎・千恵子ご夫妻

★今年度の天瀬町と箱崎の交流予定

- ・ぶどう袋かけ体験 6月28日(土)
- ・夏祭り夜店 (今年も校区夏祭りに天瀬町より物産品等出店) 8月2日(土)
- ・子ども会自然体験 (子ども会を中心に今年も天瀬の子供たちとの交流) 8月16日(土)
- ・ぶどう収穫体験 日時未定
- ・遊花祭参画 (天瀬町最大の祭りに参加) 11月2日(日)
箱崎の物産(海産物等)を出店の予定

★8月2日(土)に箱崎小学校校庭で「夏祭り」開催

今年箱崎伝統文化保存会が立ち上げた「箱崎太鼓」のお披露目。また箱崎校区のイメージソング「歌おう!踊ろう!はこざき」の生演奏などアトラクションも楽しみです。今年も交流のある天瀬町からの夜店の出店もあります。



箱崎四方山話

東・西・南・北・中央部

東・西・南・北・中央部。箱崎に古くから住み、かなりの年配者なら、この言葉をきいて懐かしく思われる方も多いことでしょう。箱崎がまだ粕屋郡時代の箱崎小学校での部伍別の名稱である。当時の大字箱崎を五地区に大別し、それぞれ単純明快に方位名を付し、部伍別の単位名としたものである。小学校ではよく部伍会が開かれ、担当の先生から何かと指導をうけた。夏休み前や放生会前などの部伍会では、今日流にいう生活指導等が行われていた記憶が蘇る。もう六十数年も前のことである。運動会するとき一番声援も多く力がいり盛りあがるのが、部伍別対抗リレーである。それぞれ五つに色分けされ、選手たちは部伍の名誉を担い、五色のユニフォームを着たランナーたちが翔ぶようにバトンをリレーして行った。

因みに各部伍の地区と色を示せば、東部(原田、新町、福など)紺色。西部(網屋地区全て)柿色。南部(社家町、宮前、郷口など)赤色。北部(海門戸、帝大前、米一丸など)紫色。中央部(中央街、阿多田、馬場など)緑色であった。

ご参考までに記すと、市合併当時(昭和十五年)の箱崎小学校には二、一〇〇名の児童が在学していた。ウソのようだが実際の話である。このため昭和十七年には宮崎小学校へと分離している。このころ小運動会は現在の校庭で、中運動会は現、宮崎宮グラウンドで、大運動会は現浜のお汐井取場から神社庁辺りの広い浜のグラウンドで開催された。大運動会の前にはケガ防止のため貝殻拾いをしたことを覚えていいる。ここで今の小学校と校区の運動会をいっしょにしたような大字箱崎の大運動会が開かれていた。今でも「待ちに待ちたる運動会、来れり来れりあ、愉快」と運動会の唄がきこえてきそうである。

また箱崎町が粕屋郡から福岡市に合併し、東区の一校区になつて久しいが、この東西南北中央部の分け方を踏襲している団体もまだいくつもある。お宮、お寺の世話人等もしかりであるが、農協、信組でも、また、晴厄、還暦などでもこの分け方が生きている世代もかなりある。

(古田鷹治)